



Sステージ ポアアップキット 125cc 取扱説明書

商品番号：01-05-0091

適応車種およびフレーム番号

スーパーカブ110：JA10-1000001～

クロスカブ：JA10-4000001～

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

特 徴

- ノーマルシリンダーヘッドを使用し、ポアアップするキットです。
- ピストン径をφ50mmからφ53.5mmにポアアップし排気量を125ccに、圧縮比を9.0：1から12.5：1にアップさせます。
ハイコンプ化させることで力強いトルクが感じられます。
- 弊社製エキゾーストマフラーとの組み合わせにより更なるパワーアップが望めます。

正しく安全にご使用頂く為に

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

このキットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ F.I. コントローラーについての注意 ▲

このキットのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ずF.I. コントローラーを取り付け、燃料増量補正を行って下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

- ・取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ・弊社製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ・製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
- ・他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ・弊社製品は、上記適合車種の専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ・弊社製品の取り付けには上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ・取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ・必ず慣らし運転を行って下さい。
- ・このキットを取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には不向きです。
- ・ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。



警告

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

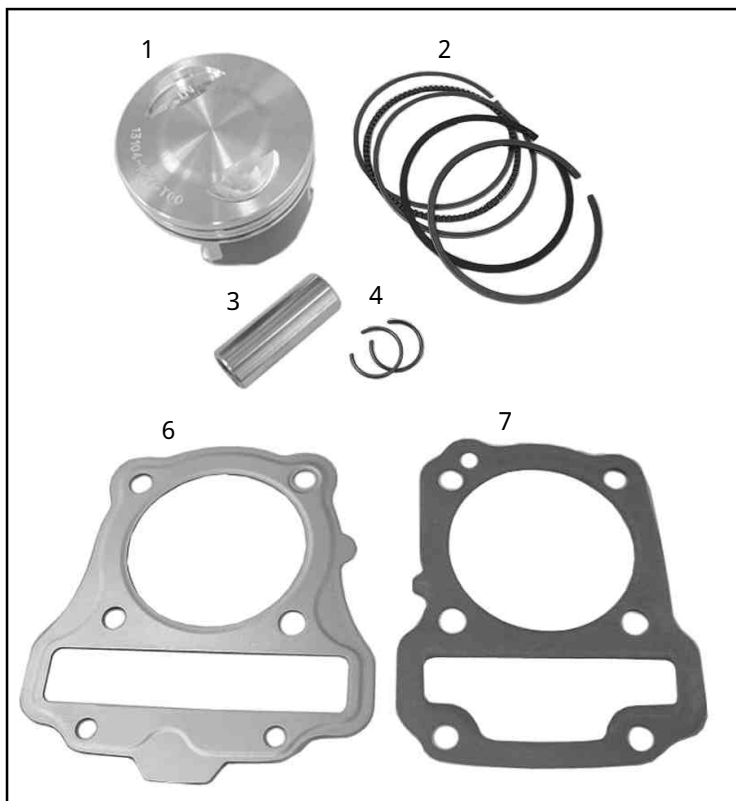
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ 商 品 内 容 ～

0 1—0 2—0 0 0 1



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン 53.5mm	1	00—01—0180 (ピストンピン付)	1
2	ピストンリングセット	1	13011-GBG-T00	1
3	ピストンピン 13×36	1	00—01—0091 (サークリップ付)	1
4	ピストンピンサークリップ 13mm	2	00-01-0003	6
5	シリンダー	1	01—01—0109	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1	01—13—0114	1
7	シリンダーガスケット	1		1
8	スポーツカムシャフト	1	01—08—0059	1

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

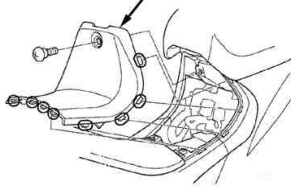
～取 付 け 要 領～

・水平な場所でセンタースタンドを立て、車両をしっかりと安定させる。

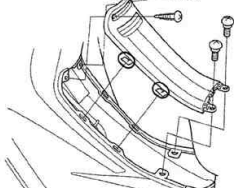
●外装部品の取り外し

・ホンダ純正サービスマニュアルを参考にしてセンターカバー、メインパイプカバー、フロントカバー、レッグシールドの左右を取り外す。

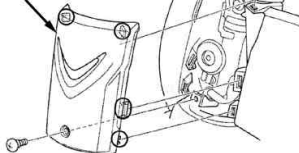
センターカバー



メインパイプカバー



フロントカバー

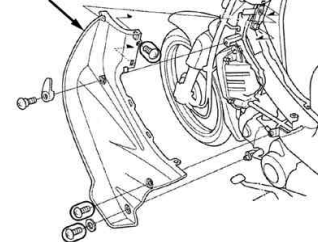


スーパーカブ110の場合

フロントカバー

クロスカブの場合

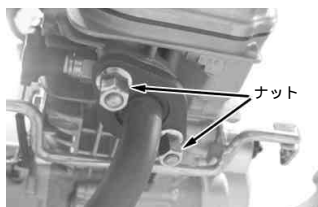
レッグシールド



●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従うこと。

・エキゾーストパイプ部のナット2個を取り外す。



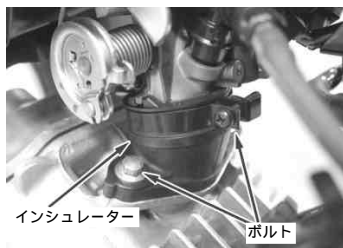
・リアアックススリーブナットとワッシャを外し、STDマフラーを取り外す。

リアアックススリーブナット/ワッシャ

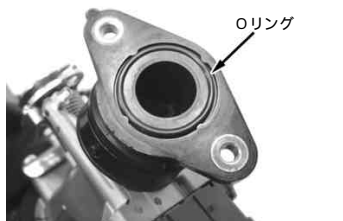


●インシュレーターの取り外し

・ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからインシュレーターを外す。

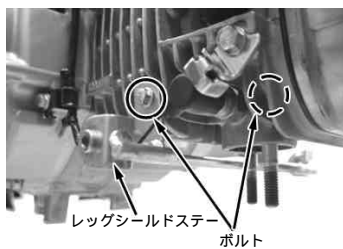


・インシュレーターのOリングを取り外しておく。

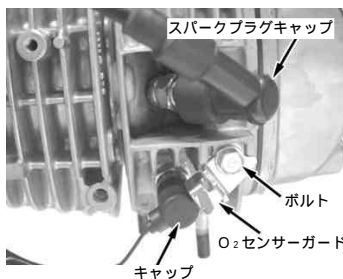


●シリンダーヘッドの取り外し

・ボルト2本を取り外し、レッグシールドステーを取り外す。



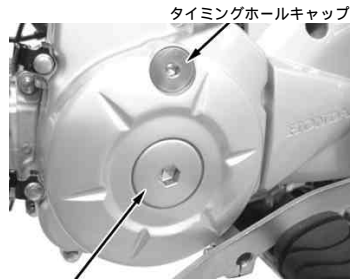
・ボルトを取り外し、シリンダーヘッドのO₂センサーガードを取り外す。O₂センサーのキャップを取り外す。スパークプラグキャップを取り外す。O₂センサーは衝撃に弱いため取り扱いに注意。落としたり衝撃を与えた場合は新品に交換する事。



・シリンダーの油温センサーのカブラの配線を外す。油温センサー及びシーリングワッシャを取り外す。



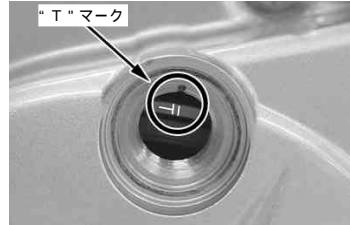
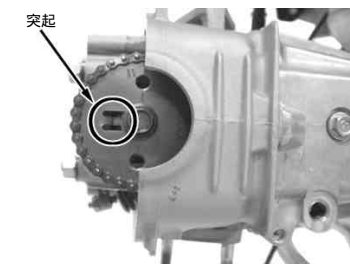
・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップを取り外す。



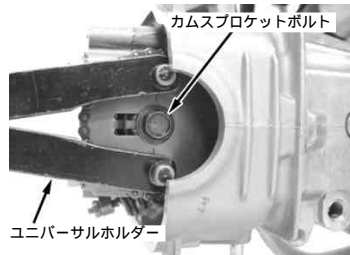
・ヘッドカバーのボルト/マウントラバー2箇所を取り外しヘッドカバー/ガスケットを取り外す。ボルト/マウントラバー



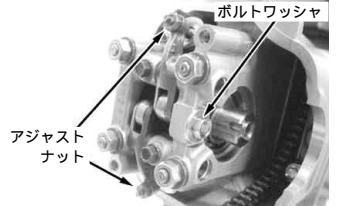
・クランクシャフトを反時計方向に回し、カムスプロケットの突起が前方を向いている状態で、フライホイールの" T "マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせる。



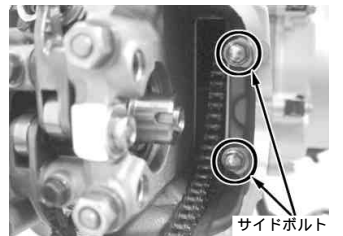
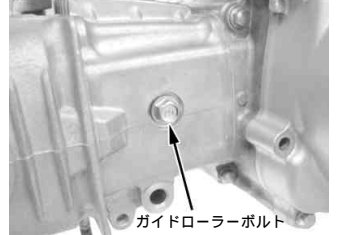
・ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットボルトを取り外し、カムスプロケットを取り外す。



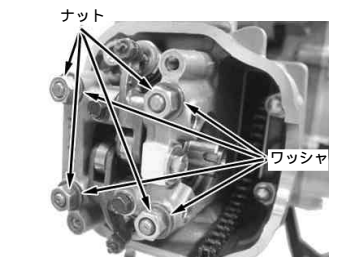
・インテーク、エキゾースト共にロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューを緩めておく。ボルトワッシャを緩めておく。



・シリンダーのガイドローラーボルトを緩めておく。シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り外す。

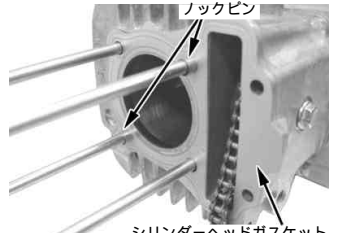


・シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて緩め、シリンダーヘッドナットと共にワッシャ4個を取り外す。

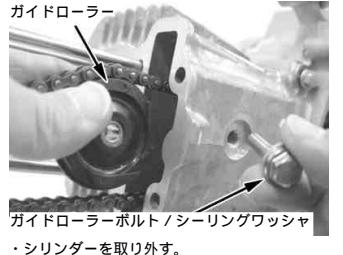


●シリンダー、ピストンの取り外し

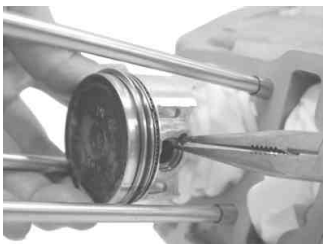
・シリンダーヘッドガスケットとノックピン2個を取り外す。



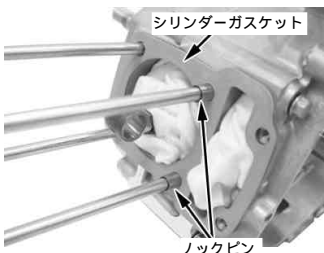
・シリンダーのガイドローラーボルト/シーリングワッシャを取り外し、ガイドローラーを取り外す。



・ピストンピンサークリップの片側を外し、ピストンピンを外し、ピストンを取り外す。

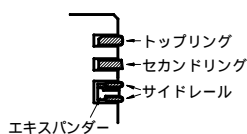
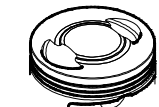
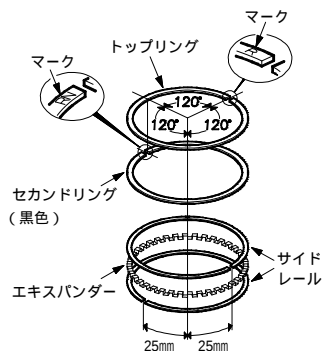


・シリンダーガスケットとノックピン2個を取り外す。クランクケースにシリンダーガスケットがこびり付いている場合はスクレイパーにて剥がす。



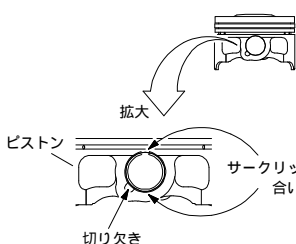
●ピストンの取り付け

・ピストンリング溝をエアブローし、ピストンリングを取り付ける。
2NDリング及びTOPリングは文字が入っている面を上にして取り付ける。
ピストン及びピストンリングを傷つたり、破損させない事。
取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。
リングの合口は、図のように120度間隔で取り付ける事。



ピストンリング断面形状

・片側のピストンピン穴のサークリップ溝にサークリップを取り付ける。
ピストンピンサークリップの合口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付け。



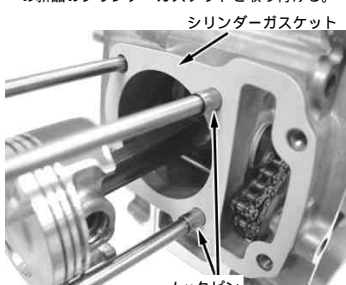
・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデングリスを塗布しピストン頭部にある“IN”マークをインテーク側に向け、ピストンピンを取り付ける。



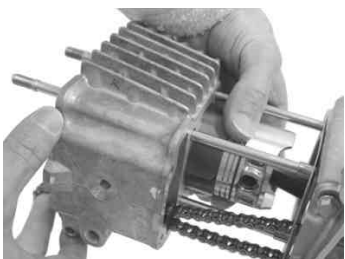
・ピストンピンサークリップ溝にピストンピンサークリップを取り付ける。
ピストンピンサークリップの合口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付け。

●シリンダーの取り付け

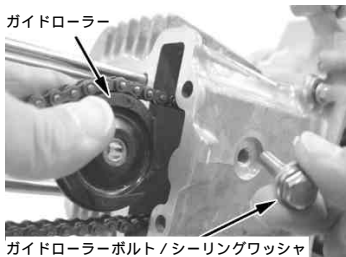
・クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃し、クランクケースにノックピン2個とキット内の新品のシリンダーガスケットを取り付ける。



・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



・ガイドローラーをシリンダーの取付け穴に合わせ、ガイドローラーボルト／シーリングワッシャを仮止めておく。



●カムシャフトの交換

・シリンダーヘッドのボルトワッシャを取り外し、ノーマルカムシャフトを取り外す。
外し難い場合はロッカーアームのアジャストスクリューを緩め取り外す。



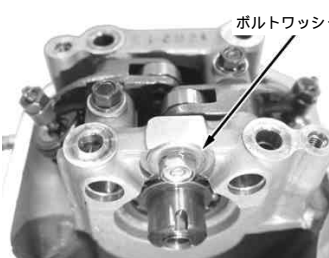
・キットのカムシャフトのカム揺動部、ベアリングにエンジンオイルを塗布する。



・溝をロッカーアーム側に向け、カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。

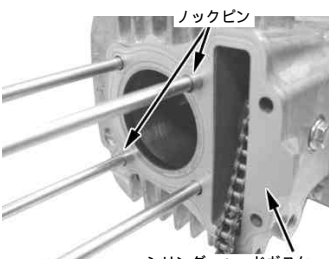


・シリンダーヘッドにボルトワッシャを仮止める。

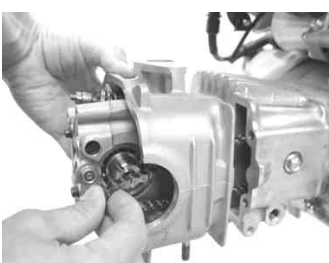


●シリンダーヘッドの取り付け

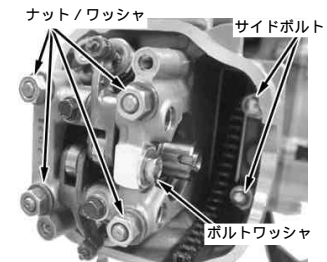
・シリンダー上面を清掃する。ノックピン、キット内のシリンダーヘッドガスケットを取り付ける。



・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける



・ワッシャ4個、シリンダーヘッドナット4個、シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り付ける。



・シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：13 N・m (1.3 kgf・m)

・シリンダーヘッドのサイドボルト2本を交互に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

・仮止めていたシリンダーのガイドローラーボルトを規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

・仮止めていたボルトワッシャを規定トルクにて締め付ける。

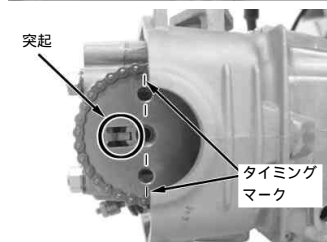
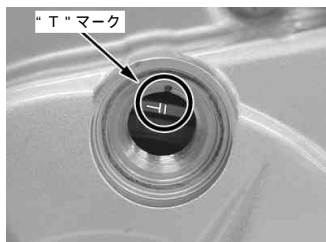
△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

・オイルフィルボルトとシーリングワッシャを取り外す。



オイルフィルボルト／シーリングワッシャ

・フライホイールの“T”マークがクラッチカバーの合わせマークに合っているか確認し、突起を前方に向け、タイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合うようにカムスプロケットをカムチェーンに付け、カムシャフトの溝をカムスプロケットの突起に合わせて取り付け。



・ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットのボルトを規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：27 N・m (2.8 kgf・m)

- ・クランクシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせ、カムプロケットのタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っていることを確認する。
- ・ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィラボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



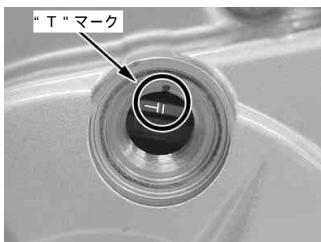
エンジンオイル注入



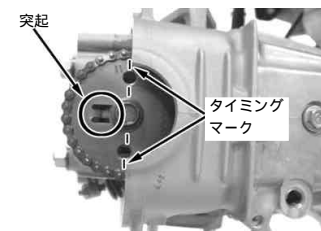
オイルフィラボルト / シーリングワッシャ

●バルブクリアランスの調整

- ・フライホイールの“T”マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせたときにカムプロケットの突起が前方を向き、且つタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。



“T”マーク



突起

タイミングマーク

- ・ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブステムエンドの間に0.1mmのシクネスゲージを差し込み、アジャストスクリューを締め込んでいき、シクネスゲージが少し抵抗があるくらいで引き抜けるくらいに合せてアジャストナットを締め付ける。

バルブクリアランス

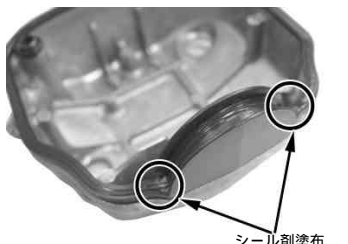
：IN、EX共に0.1mm

△注意：必ず規定トルクを守る事。
アジャストナット
：9 N・m (0.9 kgf・m)



- ・バルブクリアランス調整後、反時計方向にフライホイールを2回転回した後で“T”マークとタイミングマークをそれぞれ合わせ、バルブクリアランスが変化していないか点検する。変化している場合は再度調整し、合うまでこの作業を繰り返す。

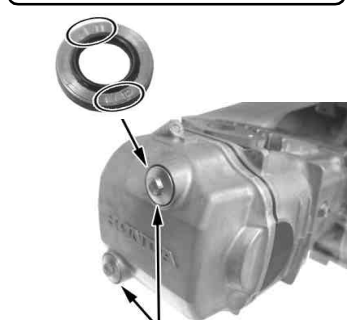
- ・ヘッドカバーにガスケットを取り付け、ガスケットの画像に記す隅部分にシール剤を塗布する。シール剤：スリーボンド5211C又は相当品



シール剤塗布

- ・ヘッドカバー / ガスケットをヘッドカバーのボルト / マウントラバー2箇所にて取り付け、規定トルクにて締め付ける。マウントラバーは“UP”マークを上に向けて取り付ける事。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

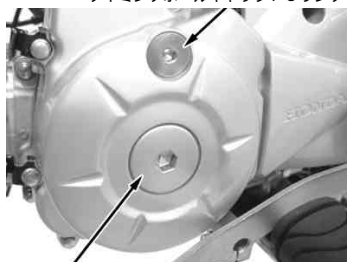


ボルト / マウントラバー

- ・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップにOリングが付いている事を確認して取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
タイミングホールキャップ
：10 N・m (1.0 kgf・m)
クランクシャフトホールキャップ
：8 N・m (0.8 kgf・m)

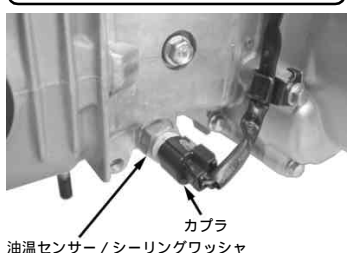
タイミングホールキャップ / Oリング



クランクシャフトホールキャップ / Oリング

- ・油温センサー及びシーリングワッシャをシンダーに取り付け、規定トルクにて締め付ける。油温センサーのカブラの配線を接続する。

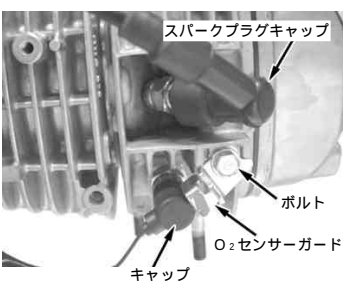
△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：14 N・m (1.4 kgf・m)



カブラ
油温センサー / シーリングワッシャ

- ・O₂センサーのキャップをまっすぐに接続する。O₂センサーガード、ボルトをシンダーヘッドに取り付け、規定トルクにて締め付ける。スパークプラグキャップを取り付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



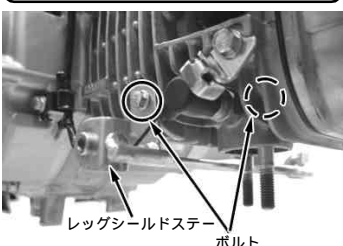
スパークプラグキャップ

ボルト

キャップ

- ・レッグシールドステーをボルト2本で取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



レッグシールドステー
ボルト

●インシュレーターの取り付け

- ・Oリングをインシュレーターに取り付け、ボルト2本とインシュレーターをシンダーヘッドに取り付け、規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



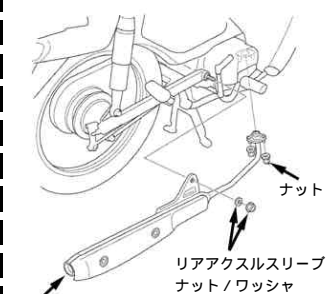
インシュレーター

ボルト

●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り付け

- エキゾーストマフラーがノーマル品から変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。

- ・エキゾーストマフラーを取り付け、エキゾーストパイプ部のナット2個、リアアクスルスリーブナット / ワッシャを仮止めする。



エキゾーストマフラー

- ・各部を規定トルクにて締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
エキゾーストパイプ部のナット
：27 N・m (2.8 kgf・m)
リアアクスルスリーブナット
：59 N・m (6.0 kgf・m)

●外装部品の取り付け

- ホンダ純正サービスマニュアルを参考にしてレッグシールド、センターカバー、メインパイプカバー、フロントカバーを取り付ける。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL http://www.takegawa.co.jp